

2007年 7月17日

会社名 株式会社 大丸

コード番号 8234

 代表者名 取締役会長兼最高経営責任者
 奥田 務

 お問合せ先 グループ本社 広報・IR部
 TEL 06-6281-9002

2007年6月度 大丸 連結営業報告

1. セグメント別売上高対前年増減率(%)

	6 月 度	3 ~ 6 月 累計
百貨店業	6.6<6.3>	1.6<1.3>
除くららばーと横浜店	6.0<5.7>	0.9<0.6>
スーパーマーケット業	2.2<1.9>	3.7<3.4>
卸売業	8.4	12.4
その他事業	9.9	1.7
連結合計	6.4<6.3>	2.9<2.7>
除くららばーと横浜店	6.0<5.9>	2.4<2.2>

(注) 1. 本月より、その他営業収入(不動産賃貸料収入)を売上高に含めている。

< >内数値は、不動産賃貸料収入を除く従来ベースでの対前年増減率。

2. 各事業の売上高には連結会社間の売上高を含む。

2. 百貨店業 売上高概況

1) 店舗別売上高対前年増減率(%)

	6 月 度		3 ~ 6 月 累計	
	売上高	入店客数	売上高	入店客数
心齋橋店	5.4<4.9>	2.0	0.0<0.5>	1.6
梅田店	5.8<5.3>	4.3	0.1<0.5>	1.0
東京店	3.5<3.1>	18.9	2.2<1.8>	11.2
ららばーと横浜店	-<->	-	-<->	-
京都店	6.9<6.4>	2.2	1.5<1.2>	1.2
山科店	2.7<3.8>	-	3.2<3.2>	-
神戸店	6.8<6.3>	2.0	0.2<0.1>	2.2
新長田店	2.4<3.3>	-	0.5<0.5>	-
須磨店	0.6<1.6>	-	0.2<0.2>	-
芦屋店	0.1<0.9>	-	1.3<1.3>	-
札幌店	15.9<15.4>	6.7	6.7<6.4>	4.0
直営11店舗計	7.2<6.8>	6.7	2.2<1.8>	2.9
除くららばーと横浜店	6.4<6.0>	-	1.3<0.9>	-
博多大丸	5.3<5.2>	5.3	0.7<0.7>	1.4
下関大丸	4.6<4.5>	0.6	0.3<0.4>	3.8
高知大丸	1.5<1.5>	0.5	0.6<0.7>	2.1
今治大丸	0.9<0.9>	0.1	2.4<2.4>	2.3
百貨店業合計	6.6<6.3>	-	1.6<1.3>	-
除くららばーと横浜店	6.0<5.7>	-	0.9<0.6>	-

(注) 1. 直営店の入店客数合計の対前年増減率は、心齋橋、梅田、東京、京都、神戸、札幌の6店合計である。

2. ららばーと横浜店は平成19年3月15日にオープンした。

3. < >内数値は、不動産賃貸料収入を除く従来ベースでの対前年増減率。

2) 直営店 商品別売上高対前年増減率(%)

	6 月 度	3 ~ 6 月 累計
紳士服・洋品	1.2	0.4
婦人服・洋品	12.2	2.4
子供服・洋品	17.9	1.5
その他の衣料品	0.6	2.4
衣料品計	9.0	1.6
身の回り品	1.4	6.3
家具	3.7	3.5
家電	5.0	13.2
その他の家庭用品	5.1	1.2
家庭用品計	2.9	1.0
生鮮	10.2	11.3
菓子	8.7	5.9
惣菜	13.9	13.3
その他食料品	5.4	5.8
食料品計	8.6	8.6
食堂・喫茶	10.6	1.0
化粧品	5.7	5.5
美術・宝飾・貴金属	1.9	1.2
その他雑貨	0.2	3.4
雑貨計	1.7	1.3
サービス	3.5	2.2
その他	41.1<13.4>	42.3<11.9>
合計	7.2<6.8>	2.2<1.8>

(注) 2007年3月から「ティファニー」の売上を「身の回り品」から「婦人服・洋品」に移動。

3. 概況

1) 百貨店業

- ・ 6月の百貨店業の売上高は、夏のクリアランスセールが6/30に前倒し開催となったことにより衣料品が大幅増となるとともに、依然好調を維持する食料品に、お中元ギフトの早期受注が盛況に推移したことも加わり、不動産賃貸料収入を除いた直営店は対前年6.8%増、全体では同6.3%増となった。
- ・ 直営店の店別売上高は、不動産賃貸料収入を除いた既存店10店すべてが前年を上回った。札幌店は38ヶ月連続で対前年増。
- ・ 婦人服・洋品は、クリアランスセール前倒しによりヤング・ヤングアダルトファッションを中心に全般に活発に動いた。紳士服・洋品は、キャラクターやプレタポルテが牽引した。身の回り品は、婦人くつ、ハンドバッグが大幅増のほかアクセサリーも好調に推移した。食料品は、「大丸ららぽーと横浜店」による嵩上げとともに、お中元ギフトの早期受注が盛況であった。雑貨は、化粧品が伸ばしたほか、時計にも動きがあった。
- ・ 博多大丸は、クリアランスセールやお中元ギフト早期受注が好調のほか、美術・宝飾品にも動きがあった。下関大丸は、お中元ギフト早期受注や催事が好調な食料品が二桁増で牽引した。

2) その他

- ・ スーパーマーケット業の大丸ピーコックの売上高は、3月にオープンした3店「三田伊皿子店」「東池袋店」「芝浦アイランド店」による嵩上げ効果により、不動産賃貸料収入を除いた全店合計は対前年1.9%増となった。
地区別では、関東地区が上記3店の出店効果もあり対前年3.7%増（既存店同 2.1%減）、関西地区は千里大丸プラザの売場改装工事の影響もあり同 1.4%減であった。
- ・ 卸売業の大丸興業の売上高は、電子部品が大幅増で牽引した。

お問い合わせ先	株式会社 大丸グループ本社	広報・IR部
	TEL	06-6281-9002
	FAX	06-6245-1343